



2021年3月11日 第2433回例会
3月第2例会

RIテーマ ROTARY: ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「水と衛生月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



10年前の本日14時46分18.1秒、東北地方太平洋沖地震により引き起こされました東日本大震災により2万2千余名の貴い命が奪われました。謹んでお悔やみ申し上げます。

先週の例会終了後、第16回理事会が開催され、当クラブのホームページについて協議をいたしました。「最近の人は必ずホームページを見ますよ。ロータリーへの入会の動機として、スマホやパソコンで広島西ロータリークラブのホームページを見て参考にするはずですよ。入会してみたいと思われるようなホームページが理想ですよ」と数人の理事の方から意見を頂戴いたしました。

私の携帯電話は未だガラケーですし、日常頻繁に使われているパソコン関係のカタカナの意味もよく分からない世代になって参りましたが、理事の皆様の真剣なご提案をお伺いしておりますうちに会員全員にご満足いただけるのは無理としましても、対外広報に特化したホームページは必要ではないかと思い始めました。引き続き協議することといたしました。スマホと連動した対外広報機能を持たせたホームページと内部向けにクラウドストレージなど資料保存方法に分けて考えてみたらどうかといったようなご提案でありました。ある理事の方は、現在のホームページは資料保存機能がしっかりしているので非常に参考になります、

と仰っておられました。

コロナ禍の現在、テレワークやズーム、SNSなど横文字だらけのニューノーマルな時代がきているのでしょうか。

米山記念奨学会 米山功労者感謝状の伝達



第1回 井下 健君

ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピンの伝達



第2回 山木 靖雄 君

● 会務報告 ● 原 幹事

※5月15・16日予定の地区大会は5月16日のみに変更されました。

※3月21日のインターシティミーティングは中止となりました。

※4月29日の在広RC懇親ゴルフ大会は中止となりました。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 井下委員長

本 日 (3月11日・木曜日)

会員数 89名 出席者 72名

欠席者 17名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 72名

2020年11月19日・木曜日

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会

尾形君

ロータリー友誌紹介

※ 次年度 松岡(輝)幹事

本日18時より5階「桃李」において第3回次年度理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (5名)

小橋君 (19年) 笹野君 (14年)

松岡(輝)君 (11年) 浜田君 (11年)

荒谷君 (5年)

連続出席記念品贈呈



5年 荒谷 壽一 君



ご結婚記念日おめでとうございます。

(12名)

小下君 松岡(輝)君 田川君

上野(純)君 古屋君 川西君

中川君 児玉君 井下君

木村君 村上(智)君 北村君

● スマイルボックス

SAA 隅田委員長

😊 浜田会長 (自主申告・大枚)

11月26日、地域・環境委員会の企画・立案されました「足踏み式消毒液スタンド」13台の佐伯区役所への寄贈の件で、経済レポート2紙、西広島タイムズに写真入りで掲載していただきました。数人の知り合いからお褒めの声をいただきました。

僭越ながら掲載された方々を代表し、自主申告とさせていただきます。

😊 木本君 (自主申告・大枚)

令和3年3月3日、(有)大竹交通の代表取締役社長に就任いたしました。

(有)吉島タクシー、(株)タイムトラベル同様によりしくお願いいたします。

😊 大本君 (自主申告)

ロータリーの友のバズルに応募したところ、抽選でけん玉が当たりました。ロータリーの友3月号の55頁に載っています。

😊 前橋君 (自主申告・大枚)

昨年末に贈呈式が行われた、上野 寛文委員長率いる地域・環境委員会の「佐伯区役所への足踏み式消毒液スタンド寄贈事業」では、弊社の商品を採用いただき、ありがとうございます。また当クラブにおいても多くの方にご用命をいただき、このたびの佐伯区役所への13台も含めると80台を超えるご注文をいただきました。本当にありがとうございます。

感染防止に役立てていただきたい気持ちとともに、このような商品は早く役割を終えて、倉庫の中にしまい込まれることを願い出宝いたします。

😊 隅田君 (自主申告・大枚)

本日、原幹事に了解をいただき、社名変更のお知らせをボックス配布させていただきました。

1月より保険募集の窓口を株式会社KRCに変更させていただいております。本来1月例会時に自主申告をと思っておりましたが、休会が続くようになりましたこと、またコロナ禍ということもあり名刺を同封させていただきましたこととお詫び申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

吉田(大)君

12月1日の中国新聞の全面広告にタナベ経営50周年への地元企業トップからのメッセージがありました。その中に、素晴らしいメッセージとともに吉田(大)君が満面の笑みで写真入りで掲載されていました。

菱光産業㈱の益々のご発展を祈念し、スマイルボックスへご招待します。

金本君、木村君、大谷君

2月23日は税理士記念日でした。税理士代理法が1942年2月23日に制定されたことに由来しているという新聞記事がございました。

会員の金本君、木村君、大谷君と中国税理士会の今後益々のご発展を祈念し、スマイルボックスにご招待します。

会員全員(ダブル)

2月23日は、ロータリー創立記念日でした。さらに、3月7日は広島西ロータリークラブの51回目の創立記念日でした。

ロータリー及び広島西ロータリークラブの誕生を祝い、今後益々の発展を皆さんで祈念するということでダブルでの全員出宝をお願いいたします。

卓 話

年男・年女放談



年男・年女放談

浜田 広君

本年7月で72歳になります。

当クラブでは4名しか存在しない希少品種の丑年生まれではありますが、私の生まれた昭和24年は団魂の世代です。小学校の1学年は6組、1クラス60人程度ではなかったかとアヤフヤな記憶があります。とにかく人数が多かったためか、単なる目立ちたがり屋さんが多かったためか、先生が問題を出されて「分かる人 手をあげて」と問わ

れると、ほとんどが「ハイ！ ハイ！先生」と言って手をあげます。「それでは 誰々君」と当てられると「分かりません」と大声で答え、先生が「またその答えしか言えないのですか、そのまま立っておきなさい」と言われて立たされた生徒ばかりで、勉強など二の次三の次のやんちゃで元気な子供で溢れかえったような教室の風景を思い出します。

学校の帰り道、情報通の鼻高君が「今度、テレビに色がつくんじゃと。カラーテレビと言うんじゃげな」と子供同士で話題になり「電気屋に寄ってみよう」と電気屋のショーウィンドーをのぞき込み、上段が空色、中段が肌色、下段が土色の3色に塗ってあるガラスカバーのようなものを見て「確かに色がついた画面が見える」といって納得していました。脱水機付き洗濯機と称して洗濯機の上に付いているローラー2本で挟んで手で回して、スルメイカのように出てくる洗濯物がおもしろく、ローラー回しに夢中になったものです。最先端・最高級の畜音機を聞かせてあげると言われ、蒸気機関車の音が右方向の遠方から左方向に走り去っていくステレオ専用のレコードの迫力に驚かされたりして育ってまいりました。終戦という言葉がまだそこかしこに消えずに残っていて、おぼろげではありますが傷痕軍人と称する人達が白っぽい服を着てゲートルを巻き使い古した鍋を前に置いて杖を突いて道路に立ち「どうか、お恵みを」と言って無心をされているのを横目で見ながらおそるおそる通っていた時代でもありました。

私は、子供の頃から図体だけは大きくガラガラ声だったようで、小学2年の時、担当の女性の先生に「浜田君は普通に触ったつもりでも、女の子は叩かれたように感じるから、とにかく女の子には近寄らないようにして頂戴」と涙目で叱られ周囲との距離感を意識し始めました。高学年の時の男性の先生はこれまた鼻につく紳士かぶれのような方で「レディ ファースト、レディ ファースト」ということで、遠足のバスに乗る順番も必ず女子の背の低い順からでしたので、男子の最後尾の私はいつも補助席に座られました。時には窓から外の眺めを見たい私は「男女平等、男女同権ではないのですか？」と、訳の分からない

文句を言っては頭を殴られたりしていました。中・高生時代は男子校で、エアコンどころか扇風機はもちろん冬のストーブも無い無機質なコンクリート製の教室に6年間一休さんのような坊主頭で鼠色に染まったズックを履きガタガタの自転車で通学していました。

大学は夢に見た大都会での男女共学。はやりのバン・ジュンスタイルで革靴を履き、髪も長髪で決めての電車通学のはずでした。胸弾ませてクラスの一部屋に一步踏み込んだとたんガックリしました。花のお江戸の華やかな夢を見ていた18歳の希望に満ちた私でしたが、2浪・3浪の擦れっからしのタバコ臭い競馬と麻雀の話題しかないオッサンの群れと女性がただ1人。しかも彼女「私、ベトナムから来た留学生。日本語良く分からない」とのこと。今まで必死で頑張ったつむりの受験勉強は何だったのかと一瞬にして目の前が真っ暗になりました。

女性はもちろん、何とかボーイなどとは全く縁がないと諦め、授業には目もくれません。70年安保・三里塚闘争・三島由紀夫の「楯の会」と、右も左もごちゃごちゃのすさんだタテカンが林立する大学の学園祭や文化サークルの打ち合わせと称し、雀荘やパチンコ屋から通学しておりました。あくまでもノンポリにしかねない私でしたが、当時の大学構内は治外法権ということで、ヘルメットを被った学生と同年代の機動隊が校門を挟んでシュプレヒコール合戦をしているのを見物にいったりしてました。下落合のボロ下宿におりましたので、新宿駅のホームにデモの勢いのままで突っ込んでしまい機動隊に追い回されて体中水浸しで催涙弾の匂いとともにはね返ってきた知り合いの日大芸術学部の知人を部屋に泊めたり、試験前になると正門や教室のロックアウト用の椅子を運ぶのを試験が無くなるならと、わざわざ手伝いに行ったりしました。学問の最高学府に在籍していたとはいえ、かなりというかほとんど授業らしい授業も受けていない無茶苦茶な4年間でありました。

我々団魂の世代のある県知事がやはり団魂世代の総理大臣を「教養レベルが露見した」とどっちもどっちのような発言で物議を醸し、学歴差別とやらで卒業大学同士の争いになりました。同世代のものとしては当たらずとも遠からずと、溜

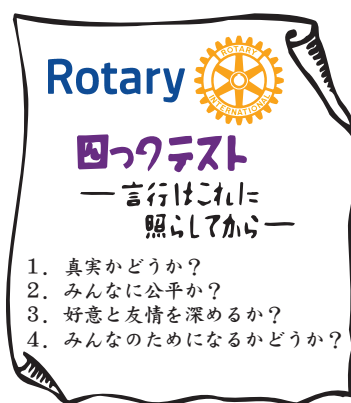
飲が下がる思いがしたのも確かです。あの60年安保、70年安保の学生運動と称するものは何だったのでしょうか？不明であります。騒動だけ起こしてそれにかこつけて学ぶ努力を怠った私のような団魂の世代の輩が、いつまで我が国や皆様にご迷惑をお掛けするのかと心配するのが取越苦勞で終わるとすれば幸いです。

大阪万博の次の年、就職氷河期の走りでしたが、花のお江戸から去りがたく数人の友人の絶大なる協力のお陰でさる企業に就職させていただきました。人事部長さんの「君は長男ですが、お父さんの会社を継がれないのですか？」の質問に「広島に帰るつもりはありません。貴社に骨を埋めさせていただく覚悟です」と格好よく答えておきながら親父の甘言につられて2年で退社しました。その会社には大変なご迷惑をおかけしてしまい、今でも慚愧の念に堪えません。退社した年は第1次オイルショックの年で、あのトイレットペーパーの買いだめ騒ぎのあった年です。本当に石油が市場から蒸発したように消えてしまい、勤めていた会社の工場が止まりそうになり、退職予定者で営業部門の所属にも拘わらず物資部のお手伝いをし、燃料にする重油を探すという普通では考えられないような体験をさせていただきました。

「類は友を呼ぶ」といった意味も含まれるかもしれませんが、どのような色にもすぐ染まってしまう私のような虚弱体質の者は、出来るだけ良質の人々の集団に自分を置いておきませんと、悪いほうにすぐ染まってしまう危険があります。自助、共助、公助でいうところの自助努力は全く手を抜いて、寄らば大樹ではありませんが、全くの人任せあなた任せの人生を送ってきたような半生でありました。

このような私ではありましたが、神様はお見捨てにならず多くの素晴らしき方々と知り合い、その方々の善意溢れる過分なお導きで様々な素晴らしい集りに参加させていただき、なんとか道を踏み外さずにこれまでやってこられたような気がします。モ〜ウ 感謝！感謝！感謝！であります。

こんな私ではございますが、皆様に厚かましく勝手なお願いを申し上げさせていただくとすれば、ご覧のように少しばかり大柄で声も大きく滑舌の悪いこの丑年男となんとかこれからも引き続きお



1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

広島西RC

検索



例会日・木曜日 12:30～13:30

例会場・ANAクラウンプラザホテル広島

会 長 浜田 広

幹 事 原 敬

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78

リーガロイヤルホテル広島13F

TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870

E-mail: hwrc@godorc.gr.jp

作 成・会報雑誌・広報委員会